



令和3年4月27日(火) no.5 文責:上田 歯科検診を静かに待つ様子。

## 家庭訪問 お世話になりました

先週から昨日まで家庭訪問を行いました。今回は感染症対策のため玄関先での訪問となりました。今後も様々な機会に家庭に訪問することもあるかと思いますが、ご対応をよろしくお願いいたします。

さて、先日、「家庭訪問 目的」というネットページをたまたま見たのですが、こんなことが書かれていました。

「(先生からの) お家ではどうですか?」という問いかけ(漠然とした質問)への対応について「子供の好きな事、おけいこ事などは、その子を理解し、親が子供に望むことも知ることが出来ますから、よく話題になります。実は先生からは、あまり話すことがありません^^」

私も何十年と担任をして、毎年、家庭訪問をしてきました。確かに、4月に担任になり数週間後に訪問しても、学校での子どもの様子について自分からあれこれ話すことはあまりなく、家庭での様子を通して子どものことを知る、子どもの個性や特性を知ることが家庭訪問では心がけてきました。その意味では、先の問いかけはよくわかります。家庭訪問される親の受け止め方次第ですが、先生からの問いかけを我が子のことを知ってもらえる良い機会だと考えてもらえればよいのですが。今後も親と担任がつながりを大切にする機会は続きます。

そういえば、30年程前、持ち上がりの学級の家庭訪問で、ペンチとドライバーをもって家庭訪問した年があります。子ども部屋の机の椅子の高さを調整しながら、壁に貼られたアイドルの話で親と盛り上がりました。昔のことですが。

## 1年生の校長室訪問に

1年生が学校生活をスタートさせ、2週間が経ちました。登校班で歩いて登校する、机に座り勉強する、自分たちで給食当番や掃除をする、休み時間にトイレに行くことも大切な準備だと言われる。何もかも?がつくことだらけだと思います。

そんな1年生が、今週は学校探検を始めています。今日は校長室訪問を受けました。校長室訪問でもっとも困る事は、「ここは何をする部屋ですか」という質問です。来客のための部屋なら職員室でもいいだろうし、何やら難しそうなる顔をして書類に目を通してある校長のイメージは付けさせたくないし、あれこれ回答を考えるのですが、1年生に理解してもらえない良い回答は見つかりません。最近では「校長先生がみんなの勉強が少しでも進むようにいろいろ考える部屋です」「何か学校のことで困ったら来てください」と答えています。結局は、けむに巻かれた風に「・・・はい。」と、疑問を残して子どもたちは去っていきます。